



月2回のお米



コメ市場に関する情報がここに凝縮されています。
毎月第2・第4木曜日 夕方発行

新潟コシヒカリ

発行日 : 2020/9/11

新潟コシ [日足] 191115 - 200910

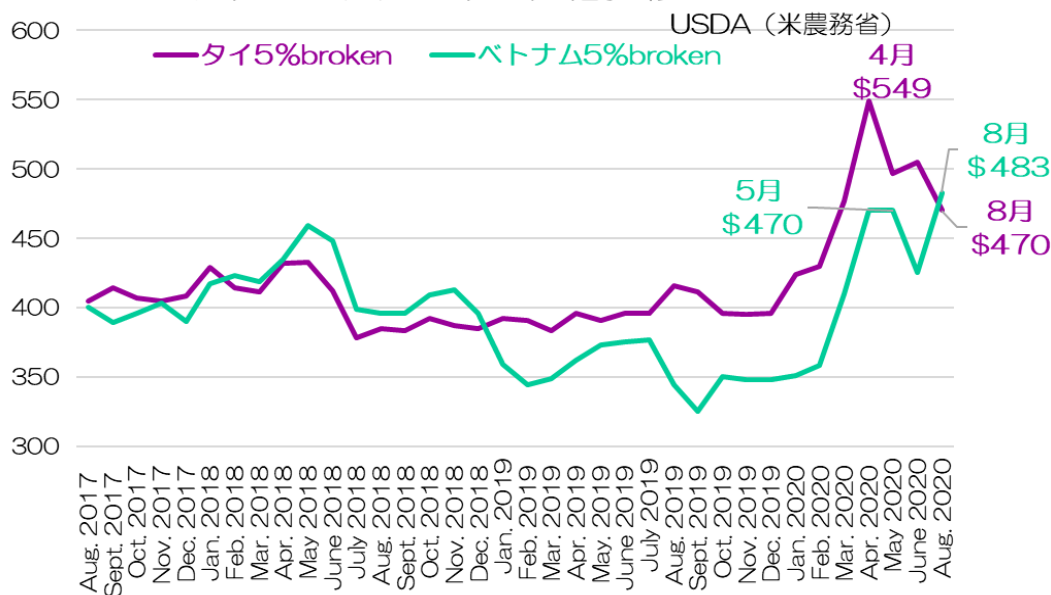


TOPICS アジアの米価は干ばつの影響で依然として高騰

タイの記録的な干ばつと大幅減産により、5%ブローケン価格を中心に米価が高騰していたが、ここに来て値上がりに歯止めがかかり、やや落ち着きを取り戻している。

しかし一方、ベトナムの同5%ブローケン価格は依然として値上がりが続いており、下段の折れ線グラフが示すとおり、トン当たり483ドルまで上昇し、タイ米価格より割高になってきた。東南アジア全域の記録的な干ばつの影響が、この背景にある。

タイ米とベトナム米の価格推移 単位ドル/トン



TOPICs タイの干ばつは中国のダムのおかげか？

干ばつの原因は、中国が建設したダムの影響によるものだという見方がある。中国に源流があるメコン川は、そこからミャンマー、ラオス、タイ、ベトナム、カンボジアに流れ込み、その流域に暮らす約6000万人の生活を支えている。ところが近年、メコン川周辺地域での干ばつが深刻化しており、地元メディアは中国が上流に複数のダムを建設したことが原因だと報じている。

米政府の資金提供のもと、水資源のコンサル企業「アイズ・オン・アース」がおこなった調査の報告書によれば、中国が建設したメコン川上流域のダムに470億キロリットルの水を放出せずにとめているという。

ベトナムでは干ばつのために非常事態宣言が発令され、タイでは救援活動に軍が出動するほどの極度な水不足に陥っている。米中それぞれの調査研究の結果は、東南アジア諸国における利権をめぐる両国の闘い



雨季に洪水が起きるのは自然の摂理で、逆に水をためて乾季に放出するのはその調和を崩す行為。魚やその他の水生動物は乾季にメコン川上流と支流を目指し、産卵・繁殖する。上流のダムが雨季に水をせき止めると下流の水量が減り、魚の成長サイクルが崩れて湿地帯への水の流れも止まる。結果的に、人も環境も多大な悪影響を被る。また、乾季に姿を見せる早瀬や巨大な石、浅瀬は、数百万の鳥に卵を産む場所を提供する。だが、ダムの放水はこうした動物の生息環境を破壊し、その結果繁殖のサイクルが乱れる。ダムによる季節に合わない水位の増減は、植物や食料だけでなく地元コミュニティの収入源も奪う。アメリカの環境NPO「インターナショナル・リーバーズ」のゲイリー・リーは、メコン川上流にある中国の景洪ダムなどが、2019年の7～8月に放水量を減らしたと指摘する。

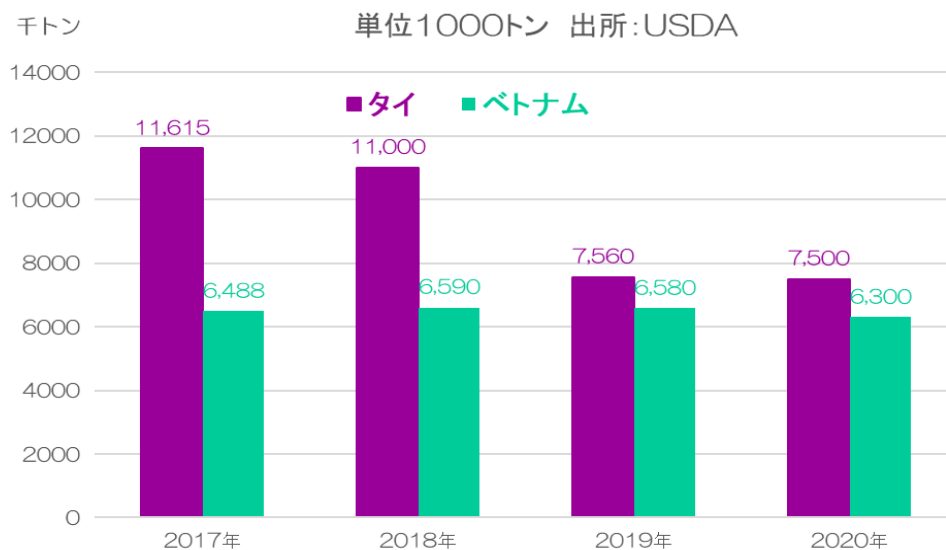
メコン川流域で水およびエネルギー管理に取り組む企業「環境資源とエネルギーシステムのオーストラリア・メコン・パートナーシップ (AMPERES)」とフィンランドのアールト大学の共同研究も、中国のダムが干ばつを緩和し、洪水発生を防いでいるという清華大学の主張にはエビデンスが不足していると結論づける。ダムは発電のためにのみ稼働していて、その運用戦略に洪水や干ばつへの対策はいまのところ含まれていないと同研究は述べている。

だが、リーのこの主張は中国側の研究報告とは相反する。

TOPICs 2020年上半期のタイのコメ輸出量が前年同期比▲32%減

USDA (米農務省) が8月末にまとめたレポートによると、2020年の世界の米生産量は5億トン超えとなり史上最高を記録する見通しである。米国やバングラデシュなどで増産が見込まれることが背景にある。USDAの8月の報告書によると、世界の20年度の米生産量は、前年比+0.9%増の5億トン (精米ベース) で過去最高となった。

タイとベトナムのコメ輸出の推移



コメの主な輸出国の輸出货量推移

千トン	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2020年のシェア
インド	12,560	11,790	9,790	10,500	11,000	25%
タイ	11,615	11,000	7,560	7,500	9,000	18%
ベトナム	6,488	6,590	6,580	6,300	6,400	15%
パキスタン	3,642	3,910	4,600	4,400	4,300	10%
中国		2,059	2,720	3,400	3,200	8%
アメリカ	3,384	3,150	3,200	3,100	3,125	7%
ビルマ	3,350	2,750	2,600	2,625	2,200	6%
その他	7,053	6,309	8,807	4,622	5,748	11%
世界計	48,092	47,558	45,857	42,447	44,973	100%

タイは昨年からの干ばつでコメやトウモロコシの収穫が落ち込んでいるのに加え、新型コロナウイルスの感染拡大による国際市場の縮小などにより輸出が大きく低迷している。中でも主力のコメの輸出不振は深刻で、ベトナムに抜かれ3位に転落することが確実視されている。好調な豚肉や鶏肉などの畜産業が下げ幅を抑えているものの、年間を通じた成長率はマイナス2%前後となる見通しだ。

タイ・コメ輸出業協会(TREA)によると、前年の2019年にコメ輸出货量が世界2位であったタイの2020年1~6月期のコメ輸出货量は前年同期比マイナス32%減の314万トンとなり、輸出額は同比マイナス12%減の22億米ドルにとどまった。低迷の理由はパーツ高と干ばつによるものである。メコン川の水位低下で、ベトナムでは2万ヘクタール近い塩害が生じている。この結果、タイのコメ輸出货量はインド、ベトナムに続く世界3位に後退する見通しである。

またカンボジアでも多くの地域で干ばつが進み、生産量減少が必至とみられている。主に西部で枯死が目立っている。同国では、乾期米栽培は雨期中の残り水を使うのが一般的。しかし、今年は雨期にもかかわらず降水量が少なく、断水状態が続いている。

メコン川と南シナ海をつなぐベトナム南部の海水逆流が広範囲に発生し、農産物に深刻な塩害が出ているが、降雨量の減少でメコン川の水位が低下し、海水が川に逆流した。2月末時点で、メコンデルタ地域10州の約1万8000ヘクタールが塩害を受けた。各州政府は盛り土で海水進入を防ぐ一方、トラックで水田に給水するなどの対策をしている。

TOPICS 世界のコメ生産量は初めて5億トンを超える by

	国名	2016/17	2017/18	2018/19	2019/20	2020/21	20/21年 度のシェア	前年比	前年比
1	中国	144,953	148,873	148,490	146,730	147,000	29%	+270	+0.2%
2	インド	109,698	112,760	116,480	117,939	118,000	24%	+61	+0.1%
3	バングラデシュ	34,578	32,650	34,909	35,850	36,300	7%	+450	+1.3%
4	インドネシア	36,858	37,000	34,200	34,000	34,900	7%	+900	+2.6%
5	ベトナム	27,400	27,657	27,344	27,150	27,000	5%	▲150	▲0.6%
6	タイ	19,200	20,577	20,340	18,000	20,000	4%	+2,000	+11.1%
7	ビルマ	12,650	13,200	13,200	12,700	13,100	3%	+400	+3.1%
8	フィリッピン	11,686	12,235	11,732	11,910	11,000	2%	▲910	▲7.6%
9	日本	7,780	7,787	7,657	7,611	7,650	2%	+39	+0.5%
10	パキスタン	6,849	7,500	7,300	7,200	7,500	1%	+300	+4.2%
11	ブラジル	8,383	8,204	7,140	7,561	7,208	1%	▲353	▲4.7%
12	米国	7,117	5,659	7,107	5,864	6,925	1%	+1,061	+18.1%
	その他	59,561	60,757	88,123	63,216	63,466	1%	+250	+0.4%
	世界合計	486,713	494,859	524,022	495,731	500,049	100%	+4,318	+0.9%

USDA（米農務省）のRICE OUTLOOK 8月号よれば、20/21年度の世界のコメ生産量は前年比+0.9%増の5億トン（精米ベース）を超えとなり史上最高を記録する見通しである。

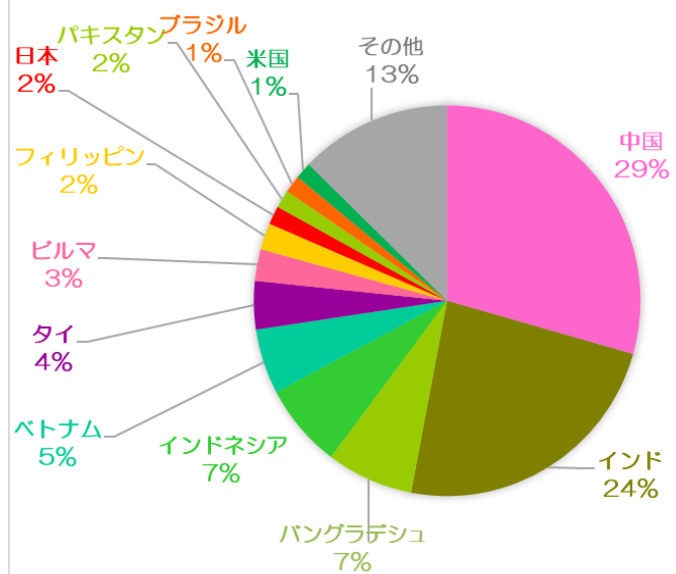
国別では、中国が一位で1億4,700万トン、インドが二位で1億1,800万トン、次いで、バングラデシュ、インドネシア、ベトナム、タイ、ビルマ、フィリッピンとなり、日本は第9位である。

昨年度から大きく増加しているのはタイの+200万トン、+11.1%だが、上述のようにタイでは干ばつが発生しており、この予想ははずれるかもしれない。

米国は18%増の692万トン、パキスタンが+4.2%増、ビルマが+3.1%増、インドネシアが+2.6%増などとなっている。

しかしベトナムは0.6%減の2700万トンで7月予測より20万トン少なくなった。農家が収益性の高い作物に転換し、作付け面積を減らした。

世界のコメ生産国（2020/21年度）



TOPICS 世界のコメ輸入国 by USDA

		2011/12	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	2016/17	2017/18	2018/19	2018/19	2019/20	19/20年度 のシェア	前年比	前年比%
1	タイ	388	394	429	472	437	482	529	531	485	626	59%	+141	+29.2%
2	インド	111	129	139	129	167	150	183	188	174	192	18%	+18	+10.2%
3	中国	4	3	3	5	4	4	34	66	66	65	6%	▲1	▲1.9%
4	ブラジル	30	5	14	17	52	15	39	43	42	64	6%	+22	+53.3%
5	パキスタン	15	18	27	25	28	21	22	23	21	32	3%	+11	+54.5%
6	ベトナム	22	78	45	67	36	29	20	16	14	18	2%	+5	+32.8%
7	カナダ	16	12	14	11	11	12	16	17	16	14	1%	▲2	▲11.1%
8	イタリア	5	8	8	9	10	12	12	10	8	9	1%	+1	+7.9%
9	アルゼンチン	3	5	4	5	6	5	5	7	6	9	1%	+3	+42.9%
10	ウルグアイ	13	12	5	6	3	1	1	4	4	6	1%	+2	+36.5%
	その他	14	11	52	43	21	20	18	21	19	25	2%	+6	+30.4%
	合計	621	675	740	789	773	751	880	926	854	1,059	100%	+205	+24.0%

USDA（米農務省）のRICE OUTLOOK 8月号よれば、世界でコメの輸入が一番多い国はタイである。19/20年度は62万トンを入力して輸入全体の59%を占めていた。前年比+14万トン増、+29%増と大幅に増加している。次いでインド、中国と続き、いずれもコメの大生産国であるが、需要が多いため輸入も多くなっている。

今後の見通し

8月15日時点の農林水産省による令和2年産水稻の作柄は、東日本を中心とした早場地帯（19道県）のうち、北海道及び東北はおおむね「やや良」、その他の地域は「平年並み」又は「やや不良」と見込まれるという。これは、一部地域で7月の低温・日照不足等の影響があるものの田植期以降おおむね天候に恵まれたことにより、全もみ数が一部を除き平年並み以上に確保されると見込まれるためとのことで、平年並みの収穫が見込まれている。需要には大きな変化はなさそうであり、新型コロナウイルスの影響で、外食需要は落ち込んでいるものと思われる。従って、コメ価格は当面弱含みだと思われる。海外ではタイやベトナムで干ばつの影響が見られるが、日本のコメ価格には及ばないだろう。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス
〒103-0014東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
メールアドレス：kondo@commi.cc